

例会報告 Rotary



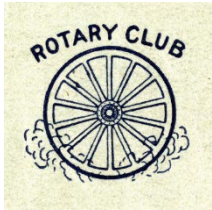
第2752回例会
令和6年8月23日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 米澤 久二
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 田中 晶洋
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 阪下 六代

ロータリーのマジック
AG訪問、IMについて

<会長の時間>

パリオリンピックの閉会式で印象深いのは、五輪旗をトム・クルーズがオートバイでパリからロスアンゼルスへ運ぶ場面でした。五輪マークは5つの大陸を表しアジア、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカ、オセアニアの5大陸の団結と、オリンピック大会に世界中から選手が集まることを意味しているそうです。



ロータリーマークやバッジについて調べてみました。最初のロータリーマークは、馬車の車輪を形取った簡素なものでした。ロータリークラブができたころ

(1905年) 例会は会員の事業所で持ち回りで行われました。交通手段が主に馬車だったことからマーク馬車の車輪が用い

られたそうです。その後マークを募集し、1912年の大会で金色とロイヤルブルーの歯車を正式のマークとして制定しました(なぜ車輪が歯車になったか、私にはわかりません。ご存じの方は教えてください)。

1923年に、6本の輻(や)スポークのことで、24の歯車および一つの楔穴(くさび穴)が定められました。楔穴



は心棒が滑らない為の穴であり、歯車の回転のエネルギーがこの心棒によって外へ伝わります。あたかもロータリアンの奉仕の理想が、ロータリアンの職業や生活を通じて、社会に影響を及ぼそうという理想と意欲を表わしているそうです。

私はバッジの着用を今まで義務だと思っていました。着用は、ロータリアンの誇りを示すと同時にその責任を表すそうです。1993~94年度国際ロータリー会長ロバート・バース氏は、国際協議会で次のように述べています。

『ロータリアンが徽章(バッジ)を付けているときは次のことを意味している。

- あなたは私を信用していただいて結構です。
- 私は信用に値する者です。
- 私の用意は出ています。いつでも、あなたのために奉仕できます。
- 私は受ける以上のものを、あなたに与えます。
- 私は人のために奉仕します。』

私は例会にバッジを忘れる不良会員ですが、ロータリーマークの100年を超える歴史とバッジを着用することを権利だと指摘されると、ずっしりとバッジを着ける重みを感じます。

<幹事報告>

◎ 高山ロータリークラブより

- ・高山3RC合同ガバナー杯公式訪問例会のご案内
日時・会場 9月26日(木) 12:30~ ひだホテルプラザ

<例会変更>

- 高山中央 … 9月16日(月)は、法定休日(敬老の日)のため、休会
- 9月23日(月)は、
法定休日(秋分の日・振替休日)のため、休会

9月30日(月)は、
高山3RC合同ガバナー公式訪問例会のため、
26日(木)12:30~ ひだホテルプラザに 変更

<受贈誌>

米山記念奨学会(ハイライトよねやま vol293)、岐阜県環境生活部 人権施策推進課長(人権だより No98)

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
25名	-	25名	36名	73.53%

<本日のプログラム> ガバナー補佐訪問

R I 2630 地区
濃飛グループガバナー補佐

岡田 賛三 様



本日高山西クラブの2回目の補佐訪問となります。AGを拝命して、濃飛グループの各クラブの第1回訪問が終わりました。各クラブそれぞれに特徴があります。例会の進め方一つ取りましても、なるほど、こういうのもいいなあ、と思うようなものも色々ありましたので、ぜひ皆さんもうメイクアップしていただき、他のクラブのやり方を見て頂くといいいのかなと思います。

私ロータリーというものを40年以上続けてきましたが、AG拝命して活動してみても改めてロータリーの良さを感じさせていただけます。地区に行きますとガバナーはじめ地区委員の方々が、大変熱心に活動されておられる姿を目の当たりにしまして、そうか、こんなふうをやっている人たちがロータリーを支えているんだなあ、これまでの我がクラブの会長さん達のご苦勞に対しても、不良会員であったわが身を振り返り頭が下がる思いです。今期の米澤会長も60周年を迎える節目に際し、変えるものは変え、新しいロータリーを目指すんだと、ズキズキワクワクするクラブにして行く、青少年奉仕活動と親睦活動、そして会員増強を三つの柱とする方針について、大変熱い想いを語っておられます。

ただ現在ロータリーの一番の問題は、会員数がどんどん減っていると言うことで、ガバナーも危機感を持って一丁目一番地は会員増強だとおっしゃっています。米澤会長も今日の会長の時間でDEIについてお話しされ、いろんな多様性のある方々をクラブにお迎えしよう、とおっしゃっています。これは本当にいい方向だと思います。私も十何年位前になるかと思いますが、西ロータリーにも女性会員を入れたら?と言いましたら全員から反対されて、何でだろうと思いましたが、現在2名の方に入会頂いて、西クラブも変化している、この変化・進化をさらに深めたいと思います。多様性といいいましても女性だけが多

例会報告

様性ではなく、例えば国籍の違う方とか色々な考え方がありますが、まず手始めとして女性の方をクラブにお招きするというのがやるべき事かと思えます。そして会員を増やすために我々はいったい何をやるのか、もちろん、友達・知り合いに勧める、それしかないわけですけど、じゃあ何をもってロータリーに勧誘するか、ということがとても大事です。ロータリーに入って何かいい事があるの？と聞かれた時に、果たして本当に自信をもって勧められるか、私にはちょっと難しい部分もあったりするんです。しかし、私も40何年も何となくロータリーに在籍していたのは、例会に出席する事が自分にとって何か安らぎを覚えるものであったとか、また新しい方との出会いがある喜びとか、そういう中で続けてきて、またそんな状態で在籍しつづける事を許してくれたこのクラブに感謝したいなと思っています。

そんな中でですね、実はちょっと昨日とても嬉しい話がありました。私、上一之町に遊朴館というギャラリーと言いますか喫茶店と言いますか、そんな店をやっておったんですが、年も年だし、このまま続けて社員の方たちに迷惑かけられないなど、コロナ禍きっかけで閉店することにいたしました。で、そのまま何かすることないかなということであつておったんですけども、会社継いでくれました娘が、あそこを飛騨産業として活用したいというような事を言ってくれて、この秋には新しい形にするんですけども、30年近く喫茶とかギャラリーやっておりましたので、中には色んなガラクタやらがいっぱいあるんですね。それを整理するのにうちの女房も大変苦労しておりまして、色んな方たちにお手伝いいただきながら進めていたんですが、昨日大村さんの会社から社員の方に来て頂いて、本当にテキパキと、これは使えるこれは使えないこれは危険です、って正にプロの仕訳だった、大変感銘した、と言っておりました。それで、実はあの会社の社長はロータリアンなんだと言いましたら、私のグウタラぶりしか見ていないもんですから皆そんな感じだと思っていた様でして、そんな立派な会社の方がロータリーにも居るの？って驚いておりました。いや俺以外はみんな素晴らしいんだ、と自慢したんですが、その時にこれこそがロータリアンの人を引っ張る大きな力になっているんじゃないかと。やはり自分の生業の中で地域に貢献をしていく。そういう人が集まって、また集団で大きな貢献ができる。それがロータリーの意義なのではないか、と言う事を改めて感じさせていただきました。私も自信をもってそう言えるわけではありませんが、地域で喜んで頂けるような会社を目指してきたわけですけども、今日のロータリーソングにもありました様に「天の授けし生業を 矜持を胸に勤しみつ 志ひとしき輩とともに歩まん」というこの言葉、とても大事だと思います。自分の生業は天が授けてくれた。そして誇りと矜持を持ってその仕事を進めている。そういう仲間がいて、自分もまた頑張ろう、という力になるんじゃないかなと、改めて感じさせていただいた出来事でした。

皆さんそれぞれにお仕事をされています。会員の皆さんがやっておられる事についてもお互いに目を向けつつ、共に成長していく、そんな姿が目指すクラブ像かな、とも思ったりもしております。ただ単に何か奉仕をやるよっていうことで声を掛けたとしても、なかなか人を集めるというのは難しいと思います。あの人がある、ああいう良い会社の人があるなら私も仲間になりたい、そんな風に言ってもらえる、それぞれの生業を矜持をもって勤しんでいく、そういう人の集まりを作っていければなあ、と思いました。

もともとロータリーがポール・ハリスによって始められたその頃は、シカゴの暗黒時代なんですね。アル・カボネとかのギャングが暗躍する荒れた時代の中で、あくどい恐喝まがいな事に対峙しながら商売をしつつ、そういう人たちとの付き合いにとっても身し得ない、志のある仲間と集まって社会をどうしたら変えて行けるかという想いで話し合ってた、それが共感を集めて世界に大きく広がっていった、これは人類社会としても大きな役割を果たしたのではと思います。そういう意味で四つのテスト、真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか。これはロータリー活動の際だけでなく、自分の生業の中で、これが果

たして出来ているかを時々思い出して反省してみる、そんな生き方をしていく事が重要かと思えます。ぜひ米澤会長の指導力の下、高山西ロータリークラブ会員皆様一丸となって進んで行っていただきたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

IMについて

実行委員長 斎藤 章

本日はガバナー補佐公式訪問にあわせて、IMの概要と経過を合わせてご報告し、全メンバーのご協力のお願ひも申し上げます。

2024-2025 国際ロータリー2630 地区 濃飛グループIMは当クラブが担当にて、11月9日(土)に高山グリーンホテルで行われます。

数年に1回の持ち回りにて行われています。ここ何回かの実施状況は、資料1を参照して下さい。過去3回、57名、45名、40名のメンバーの総がかりにて準備の上、実行されました。本年度は総数36名で少ない人数でご負担も大変ですが、準備のお手伝い宜しくお願ひ申し上げます。

7月31日に、第1回実行委員会を大枠での担当を決めさせて頂き活動開始です。資料2を参考にして下さい。以後、種々の役割分担をお願ひすることになるとは思いますが各担当におきましても宜しくお願ひ申し上げます。当日のご都合悪い方もあるとはおもいますが、前日の下見、当日の役割も含めてご無理申し上げます。併せて宜しくお願ひ致します。

資料3は、当日のプログラム予定です。このような流れを考えています。お目通しして頂いて大枠をご理解頂ければ幸いです。

今回のIMは岡田ガバナー補佐のお考えもあり、できるだけ懇親の場と考えております。これもご理解ください。全メンバーのご協力の上での素晴らしい会になるものと思えます。宜しくお願ひ致します。

<ニコニコボックス>

●濃飛グループガバナー補佐 岡田 賛三 様

本日はよろしくお願ひします。

●米澤 久二さん、田中 晶洋さん

今年度の親睦・職業奉仕委員会のキックオフミーティングに参加させて頂きました。各委員の皆様の熱い思いを聞かせて頂き益々楽しみになってきました。本日はAG訪問例会です。岡田賛三様のご来訪を心より歓迎致します。後程卓話宜しくお願ひ致します。

●親睦委員長 田邊 淳さん、職業奉仕委員長 井口 大輔さん、

先日、親睦委員会と職業奉仕委員会合同のキックオフ会を開催しました。24-25年度の両委員会は、例年以上にパワフルに活動していきます。今後のイベントに乞うご期待！皆さんご協力をお願いします。まずは9月1日の納涼例会での木曾川鵜飼です。昼鵜飼いや犬山城を堪能し、大いに親睦を深めましょう！キックオフ会のお釣りをニコニコへ。

●大村 貴之さん

亡き父に感謝。

●内田 幸洋さん、田中 武さん、垣内 秀文さん、塚本 直人さん

堀 幸一郎さん、平 康裕さん

連日暑い日が続いています。今年の夏の甲子園では高校野球の開催が2部制となりナイターでの試合もありました。今日はいよいよ決勝戦です。そろそろ秋の風が吹いて欲しいですが、台風も近づいているようです。皆さん災害には気をつけましょう。

